

KAITEKI実現に向けたアプローチ

Science. Value. Life.

3 1章 MCGグループがめざす姿

4 社長メッセージ

9 グループ理念

11 価値創造モデル

KAITEKI実現に向けたアプローチ

13 Science

15 Value

18 Life

20 2022年度活動報告

22 2章 持続的な成長戦略

56 3章 ESGの強化

95 4章 財務・非財務情報



私たちの競争力は、Science。

創造的なソリューションをもたらす最先端のテクノロジー

三菱ケミカルグループのサステナブルな成長を支える原動力として、社会に価値をもたらすイノベーションを追求した経営 (Management of Technology) を推進しています。基礎研究から生産技術に至るまでの高い技術力、豊富な知的財産、そして時代の新潮流を取り入れるオープンイノベーションにより、革新的なソリューションの創出を加速していきます。加えて、デジタル技術を活かすことで、研究開発の加速、バリューチェーンの最適化・効率化などを進め、経営効率の抜本的な改善を図っています。

[イノベーション戦略 ▶P.45](#)

[直前に見ていたページに戻る](#)



©GRAFILM

Science & Innovation Centerに新研究棟を開設



デジタル戦略

▶P.49

リチウムイオン電池 (LIB) 用電解液の Science

電極表面の性質を変化させる発明で、長寿命・高性能化を実現



2000年代から長寿命・高出力な車載用電池の開発に取り組み、従来の常識であった、電解液の組成変更ではなく、電解液にわずかな添加剤 (ジフルオロリン酸リチウム) を加えて電極表面の電気抵抗を減らすことで大幅に出力を向上する手法を発明しました。それにより、従来トレードオフであった長寿命化と高性能化の両立が可能になりました。

この発明は学術面においても大きな影響を与え、これ以降、電極表面改質技術に関する議論が、産業界のみならず学術界でも活発に行われるようになりました。

KAITEKI実現に向けたアプローチ

Science. Value. Life.

- 3 1章 MCGグループがめざす姿
- 4 社長メッセージ
- 9 グループ理念
- 11 価値創造モデル
- KAITEKI実現に向けたアプローチ
- 13 Science
- 15 Value
- 18 Life
- 20 2022年度活動報告
- 22 2章 持続的な成長戦略
- 56 3章 ESGの強化
- 95 4章 財務・非財務情報

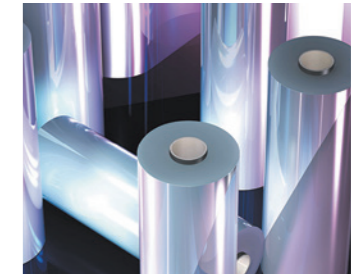


培ってきた技術力を活かし、
ディスプレイ用部材を多数開発しています

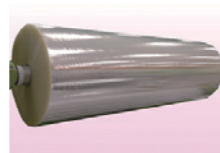
三菱ケミカルグループは、広範な事業領域で基盤技術と独自技術を培ってきました。中でも光学用ポリエステルフィルムは、世界トップシェアの約20%を有し、グローバルに拡大する市場に対する供給能力の確保と高度化するニーズへのソリューション提供に迅速に対応し、さまざまな工業製品の進化を支えています。

そのほか、偏光板用基材フィルムや導光板、光学用粘着シート、反射フィルムなど、ディスプレイに適した機能部材を幅広く展開しています。

光学用ポリエステルフィルム
世界シェア
約20%

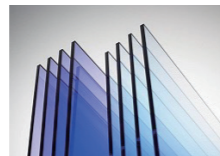


主なディスプレイ用部材



「OPLフィルム」

偏光板の基材として使われる光学用PVOH(ポリビニルアルコール)フィルムです。このフィルムを使うことで、鮮やかに映像や文字を表示できます。



「アクリライト」

看板やディスプレイ、大型水槽、導光板などさまざまな分野で使用されているアクリル樹脂板であり、導光板グレードは表面品質に優れ、さまざまな光源において明るく均一な照明を実現します。



「クリアフィット」

タッチパネルなどの各種ディスプレイの層間に充填する透明粘着シートです。ディスプレイ内の空隙に充填することで二重写りを防止し、コントラストも向上します。

将来に向けた開発品

ARグラス導光板材料(xR関連光学材料)

「ARグラス」は、スマートフォンに続くイノベーションとして期待され、今後の市場の急拡大が見込まれます。MCGグループでは、導光板に用いる樹脂版の開発に注力しています。光学制御技術のケイパビリティを活かし、成長市場であるARグラスで事業拡大をめざします。



ARグラス画像投影基本原理

